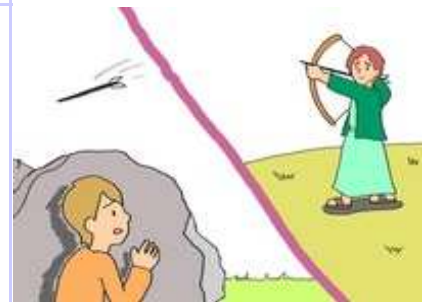


メッセージアウトライン

週課	第三年 第六課 第一週
単元	サムエル記・2
テーマ	友を愛する
タイトル	ヨナタンとダビデの友情
テキスト	Iサムエル18－20章
参照箇所	Iサムエル14章
暗唱聖句	箴言17:17「友は・・・愛するものだ」 or マルコ12:31 「あなたの隣人を・・・愛せよ」

導入	今日はダビデの大切な友だちのお話です。みなさんにも大切な お友だちがいますね。みなさんは、お友だちを愛しています か？
I	<p>ヨナタンは自分と同じほどにダビデを愛しました (18:1－4)</p> <p>A. ヨナタンとダビデは固い友情で結ばれました</p> <p>B. ヨナタンはダビデに大切な武器などをあげました</p> <p>C.</p>
II	<p>サウルはダビデを殺そうとしました (18:5－19:10)</p> <p>A. サウルは、ダビデを殺す計画をたてました</p> <p>B. サウルは、ヨナタンに説得されて、思い直しました</p> <p>C. サウルは、またダビデを殺そうとしました</p>
III	<p>ヨナタンはダビデを助けました (20:1－42)</p> <p>A. ヨナタンは、サウルがダビデを殺す気だと確かめました</p> <p>B. ヨナタンは、それを矢のサインでダビデに伝えました</p> <p>C. ヨナタンは、ダビデを逃がしました</p>
結論	ヨナタンは、父サウル王からダビデを助けました
適用	<p>1. ヨナタンは、命がけでダビデを守りました。彼はダビデを自分と同じほどに愛していたのです。あなたは、自分と同じようにお友だちを愛することができますか？あなたは、お友だちのために、何ができるでしょうか？</p> <p>2. ダビデは何にも悪いことをしていないのに、サウルに殺されそうになりました。あなたの身の回りにも、何もしていないのに、いじめられたり、仲間はずれにされたりしている人はいませんか？あなたも勇気を出して、その人たちのお友だちになりましょう。ヨナタンは、自分の父に殺されるかもしれないのに、正しいほう(ダビデ)の味方をしました。</p> <p>3. イエスキスは、私たちの最高の友だちです。あなたが困ったとき、ひとりぼっちのとき、どんな状態でも、あなたと一緒にいて、あなたの見方になってくれます。自分の命よりも、あなたを大切にしてくださったお方です。あなたも、イエスキスという最高の友だちを愛しましょう。</p>
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第六課 第二週
単元	サムエル記・2
テーマ	自分で復讐せず、神にゆだねる
タイトル	さばきを神さまにゆだねたダビデ
テキスト	Iサムエル24章、26:1-12
参照箇所	
暗唱聖句	ローマ12:21 or ルカ6:27b~28 or Iテサロニケ5:15

導入	ダビデはサウルに恨まれ、荒野を逃亡する生活をしていました。みなさんだったら、何も悪いことをしたわけではないのに、殺されそうになって、逃げ回る間、どんな気持ちになるでしょうか？
I	<p>ダビデはサウルに復讐しませんでした(24:1-7)</p> <p>A. ダビデはほら穴の中に隠れていました</p> <p>B. サウルがほら穴に入ってきました(サウルに仕返しをするチャンスでした)</p> <p>C. ダビデはサウルの上着のすそを切り取りました(仕返しをしませんでした)</p>
II	<p>ダビデはサウルに説明しました(24:8-22)</p> <p>A. ダビデは、復讐する気がないことをサウルに伝えました</p> <p>B. サウルは、ダビデが王になると言いました</p> <p>C.</p>
III	<p>ダビデは、サウルを神さまにゆだねました(26:1-12)</p> <p>A. サウルは、ダビデを殺すために兵隊を集めました</p> <p>B. ダビデは、サウルたちが眠っているのを見つけました(サウルに仕返しをするチャンスでした)</p> <p>C. ダビデは、サウルの枕もとのやりと水差しだけ取りました(仕返しをしませんでした)</p>
結論	ダビデは、自分でサウルに復讐せず、神さまにゆだねました
適用	あなたは、お友だちや兄弟姉妹に「仕返ししたい」と思ったことはありませんか？自分が相手からイヤなことをされたら、誰でも「やりかえしたい」「相手が先にやったんだ」という思いを持ってしまいます。ダビデは自分で復讐しないで、神さまの手にゆだねました。あなたは、人から傷つけられたとき、ひどいことをされたとき、どうしたらよいのでしょうか？神さまは、すべてのことをご存じです。たとえ、その時、あなたが不公平に感じたとしても、必ず神さまは、正しい人を祝福し、悪を懲らしめられます。神さまは正しいさばきをなさいます。ですから、あなたは、悪をもって悪に復讐する必要がないのです。神さまの前に正しく歩みましょう。そして神さまにお任せすればよいのです。復讐は、必要であれば、神さまがしてくださいませ。むしろ、その相手を愛し、良いことでお返ししましょう。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第六課 第三週
単元	サムエル記・2
テーマ	罪を犯してしまったら、素直に告白する
タイトル	罪を告白したダビデ
テキスト	IIサムエル11－12章
参照箇所	詩篇51篇
暗唱聖句	Iヨハネ1:9 or 詩篇51:17

導入	ダビデはついに王様になりました。神さまは、ダビデを大いに祝福されました。みなさんは、ダビデのことを、神さまを信じる、強くて正しい王様だと知っているでしょう。ところが・・・
I	<p>ダビデは罪を犯しました(11章)</p> <p>A. ダビデはウリヤの妻バテ・シェバと結婚したいと思いました</p> <p>B. ダビデはウリヤをわざと戦死させました</p> <p>C. ダビデはバテ・シェバと結婚しました</p>
II	<p>神さまはナタンをとおしてダビデの罪をしめしました(12:1－12)</p> <p>A. ナタンは金持ちが貧しい人の大切な羊を取り上げた話をしました</p> <p>B. ダビデは「そんなことをした男は死刑だ」と言いました</p> <p>C. ナタンは「あなたがその男です」と言いました</p>
III	<p>ダビデは罪を告白しました(12:13－31、詩篇51篇)</p> <p>A. ダビデは「私は主に対して罪を犯した」と言いました</p> <p>B. (詩篇51篇を読みましょう)</p> <p>C. ダビデの罪は赦されましたが、子どもは死にました</p>
結論	ダビデは罪を犯しましたが、それを正直に告白しました
適用	罪を犯してしまったら、ダビデのように正直に告白しましょう。神さまは、必ずゆるしてくれます(Iヨハネ1:9)。イエスさまは、私たちの罪の身代わりに、十字架で命の代価をはらってくださいました。罪がゆるされるということは、すばらしい恵みです。イエスさまの愛を信じて、あなたの心の中にある罪を、今すべて告白しましょう。あなたの心は真っ白になります。イエスさまの方が先に十字架にかかってくださったのです。ですから、あなたが告白せずに、心を閉ざして罪を隠していたら、イエスさまは悲しまれます。ダビデは、ひとつの罪を犯して、それをごまかすために、もっと重大な罪を犯してしまいました。これからも、罪を犯してしまったときは、すぐに悔改めのお祈りをしましょう。隠したり、ごまかさうとすると、どんどん深みにはまってしまいます。
備考	



メッセージアウトライン

週課	第三年 第六課 第四週
単元	サムエル記・2
テーマ	神の使命のために必要なものは、神に求める
タイトル	知恵をいただいたソロモン
テキスト	I列王記2:1-12、3章
参照箇所	IIサムエル7章
暗唱聖句	箴言9:10「主を恐れることは知恵の…」 or ヤコブ1:5「…知恵の欠けた人がいるなら…」

導入	「ダビデは30歳で王となり、40年間王であった」と書いてあります。今日のお話は、ダビデが死ぬ間際のところから始まります。
I	<p>ソロモンは王になりました(2:1-12)</p> <p>A. ダビデは死ぬ前にソロモンに遺言をしました(1-9)</p> <p>B. 神さまはソロモンが後継ぎになって神殿を建てると言われました(IIサムエル7章)</p> <p>C. ソロモンが父ダビデの王位につきました(10-12)</p>
II	<p>ソロモンは知恵を求めました(3:1-15)</p> <p>A. 神さまはソロモンに「あなたに何を与えようか。願え」とおっしゃいました(1-5)</p> <p>B. ソロモンは、善悪を判断する知恵を求めました(6-9)</p> <p>C. ソロモンの願いは神さまの御心にかないました(10-15)</p>
III	<p>ソロモンは神さまからいただいた知恵で国を治めました(3:16-28)</p> <p>A. 2人の女の人が赤ちゃんのことでソロモンに訴えに来ました(16-22)</p> <p>B. ソロモンはびっくりするような知恵で解決しました(23-27)</p> <p>C. 人々は、ソロモンを尊敬しました(28)</p>
結論	ソロモンは神さまから知恵をいただきました
適用	<p>神さまのご用をするために必要なものは、神さまに求めましょう。本当に与えられます。あなたの役割は何でしょうか？(家族や友だちに福音を伝える・リーダーになる・大きな声で賛美する・牧師・伝道師・社会の役に立つ仕事をする、など)そのために必要な能力は何でしょうか？(知恵・愛・学力・やさしさ・お金、など)それを神さまに求めましょう。必ず神さまが与えてくださいます。神さまは、私たちのため(利己的・ワガママな願い)ではなく、神さまのためのお願いを喜んで必ず聞いてくださいます。聖書を読んで、祈りましょう。知恵は神さまからいただくものです。何でも知っている神さまに比べて、私たちの知恵は足りません。神さまは最高・最善のことをご存じです。それを教えてもらいましょう。幸せに生きる知恵が欲しいと願う人は、聖書を読んで、祈りましょう。</p>
備考	

